

緩和的放射線治療 地域連携モデル

(主に骨転移に対する単回照射を用いたモデル)

Key
Word

事前相談

単回照射

連携窓口

モデル① 放射線治療科が連携窓口

モデル② 地域医療連携室が連携窓口

モデル③ 整形外科や緩和ケアチームが連携窓口

モデル④ 地域医療連携ネットワークを利用

実際に連携ができている緩和的放射線治療の地域連携モデルを提示いたします。

放射線治療装置のない施設との地域連携モデルで、主に骨転移に対する外来での単回照射を用いた連携モデルとなっています。



「せっかく受診しても適応外だった」 ということを減らすための連携

- 放射線治療可能な状態であるかの確認
- 病状や通院状況によって、**単回照射（1回）**でよいのか、5～10回の分割照射のほうがよいのかの判断
→ 外来通院、**当日照射（即日照射）**、入院（転院）などの相談
- **当日照射（即日照射）**の場合はスケジュール（CT・照射枠）の調整、当日の鎮痛薬の指示（**レスキュー薬があれば持参**していただく）

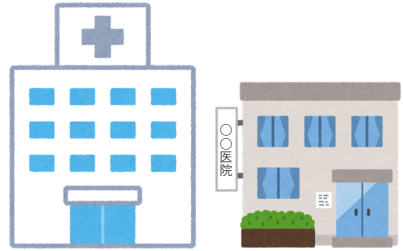
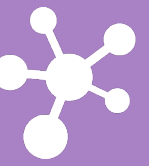
事前確認チェックシート項目



- 原疾患（+推定される予後の見立て）
- 全身状態（Performance Status：PS）
- 疼痛の部位と程度、鎮痛薬の使用状況（**レスキュー薬の有無**）
- 最近の画像検査の有無（数ヶ月前のCTでも可）
- 画像検査があれば病変と疼痛の部位の関連（**責任病巣の同定**）

- 治療時の照射体位（通常は仰臥位）での安静保持可能時間
- 外来通院の可否（1回～数回）**、あるいは入院の要否
- 外来来院方法（自分で・家族の送迎・病院の送迎 など）
- 過去の照射歴**
- 当日照射（即日照射）の場合、数時間の待機時間が可能かどうか**

モデル① 放射線治療科が連携窓口



地域医療機関

開業医・在宅医
放射線治療装置のない病院

主治医

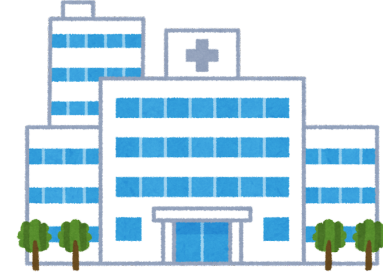
事前相談



電話で直接相談

事前確認チェックシート項目
にある内容を元に相談する

適応判断



放射線治療施設

放射線治療医



放射線治療をすることが決まれば受診予約。必要に
応じて**資料（診断画像など）の事前郵送**を依頼

患者

受診当日



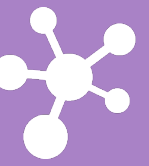
受診



施設によっては
初診日に単回照射で
治療終了
(1回のみ通院で終了)

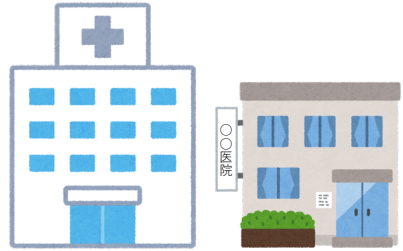
* 入院中でも外来受診・照射は可能です

モデル② 地域医療連携室が連携窓口



地域医療機関

開業医・在宅医
放射線治療装置のない病院



主治医

事前相談



FAX（電話）

診療情報提供書に事前確認
チェックシート項目にある
内容を記載。必要に応じて
診断画像を事前郵送

患者

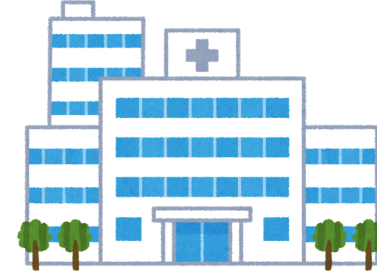
受診当日



受診

* 入院中でも外来受診・照射は可能です

放射線治療施設



地域医療連携室

放射線治療医



情報共有

放射線治療医と情報共有し、
放射線治療の適応がある場合には
受診予約の調整を行う



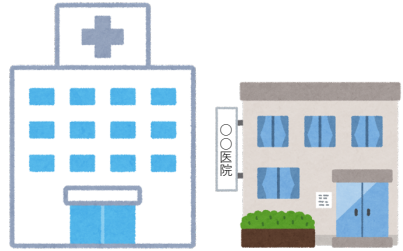
施設によっては
初診日に単回照射で
治療終了
(1回のみ通院で終了)

モデル③ 整形外科や緩和ケアチームが連携窓口



地域医療機関

開業医・在宅医
放射線治療装置のない病院



主治医

事前相談



電話で直接相談 / 連携室経由で受診予約

事前確認チェックシート項目
にある内容を元に相談、
診療情報提供書の記載

患者

受診当日



受診

* 入院中でも外来受診・照射は可能です

放射線治療施設



整形外科や緩和ケアチーム
(骨転移カンサーボード)

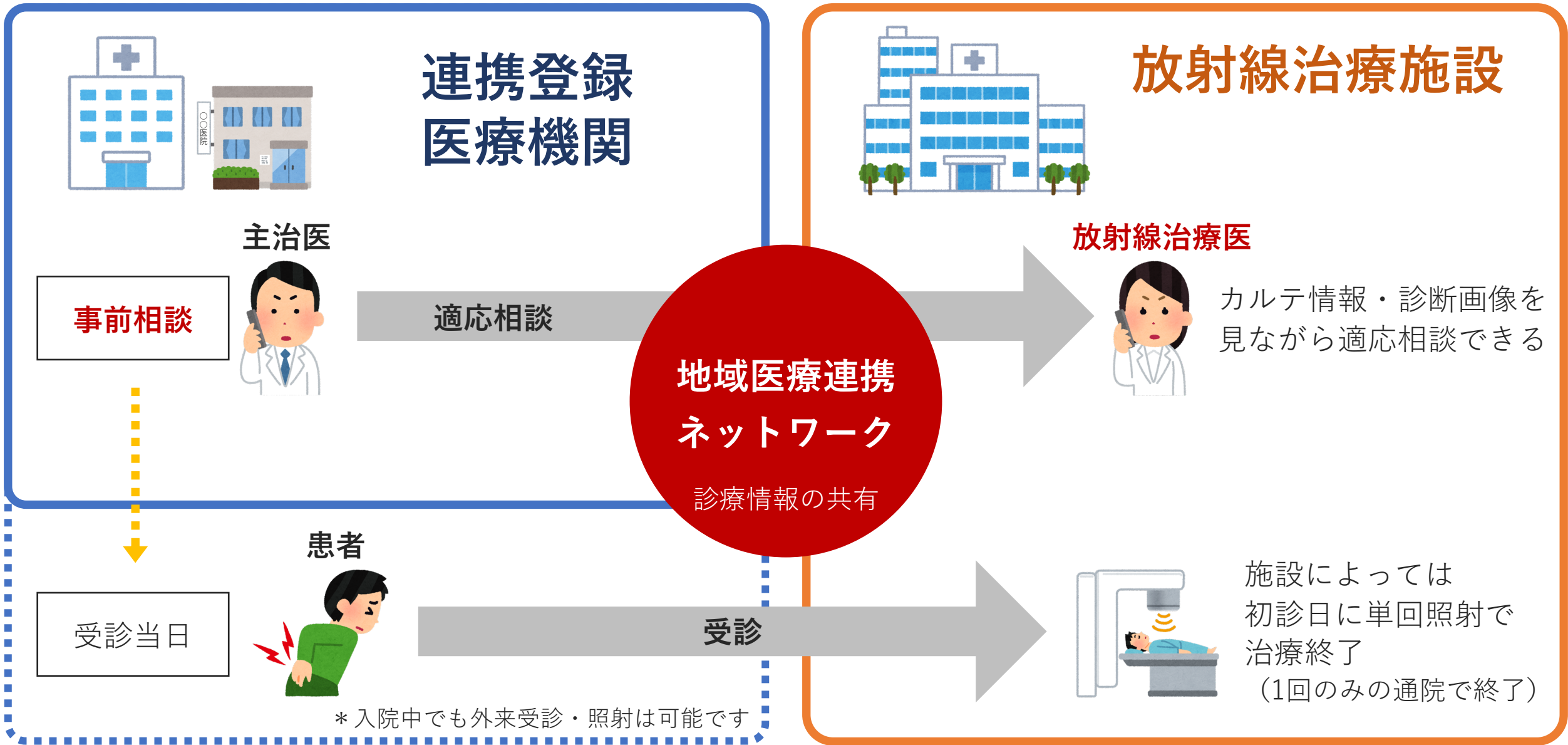
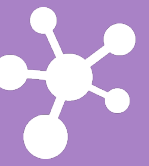
放射線治療医と連携して
適応相談・受診する診療科の調整

放射線治療医

該当する診療科を
受診して放射線
治療の準備・照射



モデル④ 地域医療連携ネットワークを利用



連携登録
医療機関

放射線治療施設

主治医

放射線治療医

事前相談

適応相談

地域医療連携
ネットワーク

診療情報の共有

カルテ情報・診断画像を
見ながら適応相談できる

患者

受診当日

受診

施設によっては
初診日に単回照射で
治療終了
(1回のみ通院で終了)

* 入院中でも外来受診・照射は可能です